

富山市都市マスタープラン(素案)の 概要について

富山西部地域・呉羽地域

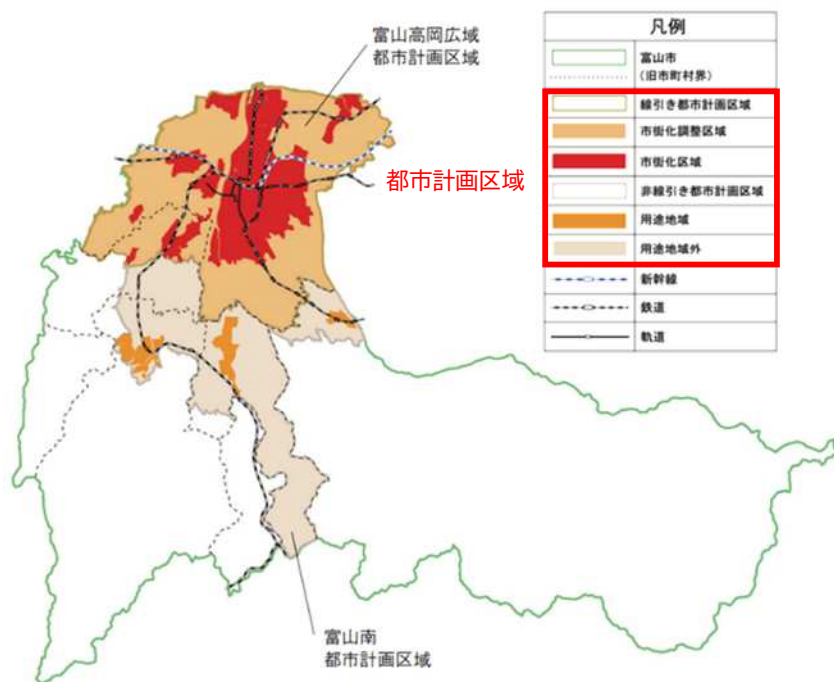
- ・都市計画法第18条の2に基づき定める「市町村の都市計画に関する基本的な方針」であり、概ね20年を見据え、本市の都市づくりの方針を示すもの
- ・上位計画である富山市総合計画と都市計画区域マスタープラン(県)に即したもの

<対象区域>

市全域
(都市計画区域を重点的に扱う)

<目標年次>

概ね20年後
2045(令和27)年



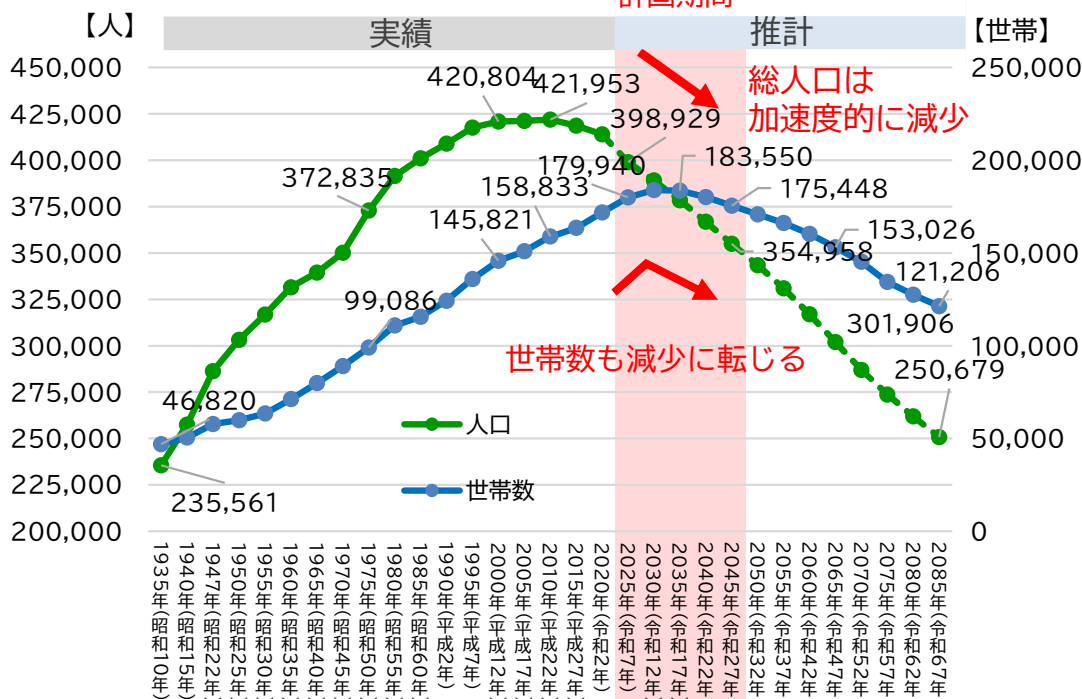
第I編 全体構想

現状の課題認識

- ・「コンパクトなまちづくり」により、市街地の外延化が抑制され、人口の低密度化に一定の歯止めがかかった持続可能な魅力ある“まち”への転換が進んでいます。
- ・しかし、今後、加速度的な人口減少と世帯減少への転換は、空き家・空き地の増加を促すなど、市街地に様々な影響を及ぼし、“まち”の問題は、より複雑化・深刻化することが懸念されるため、「市街地の人口密度低下」と「都市管理コストの上昇」を抑制させながら、既成の市街地や資源を活用して魅力が高まるまちづくりに取り組む必要があります。

<人口と世帯数の実績と将来推計>

計画期間



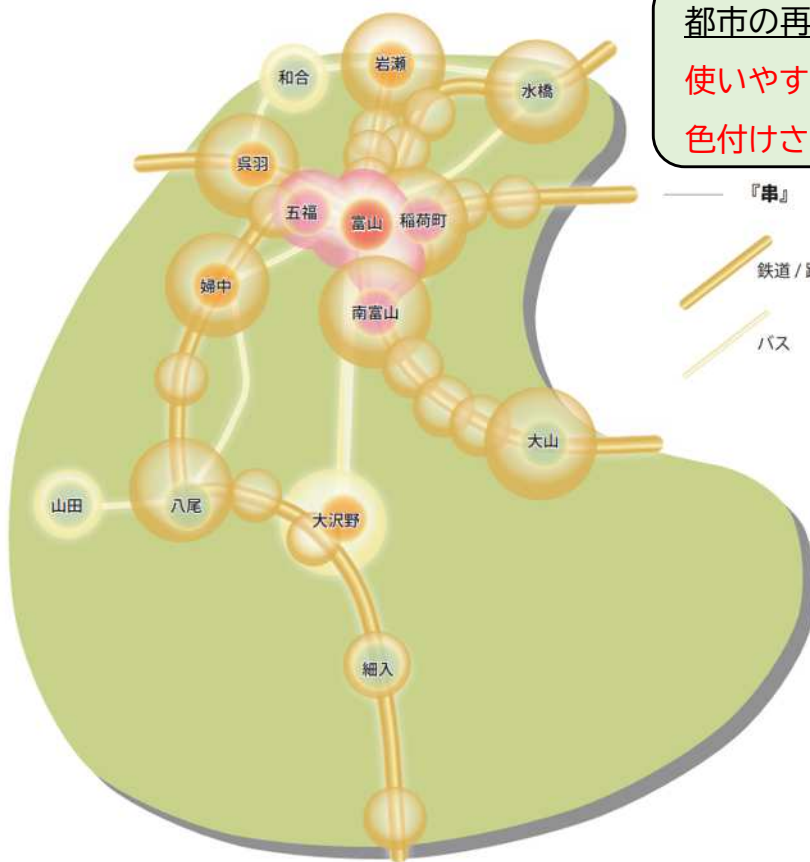
<課題認識>

- ①公共交通の持続性が低下し、極めて生活しづらい“まち”への転換
- ②“まばら”な市街地と“まち”の老朽化による生活環境の悪化
- ③拠点性の低下による都市全体の活力と魅力の喪失
- ④社会情勢の変化等による都市環境の変化

出典:実績(1935年~2020年)は国勢調査

推計は令和6年度富山市将来人口推計報告書(2025年~2070年)及び独自推計(2075年以降)

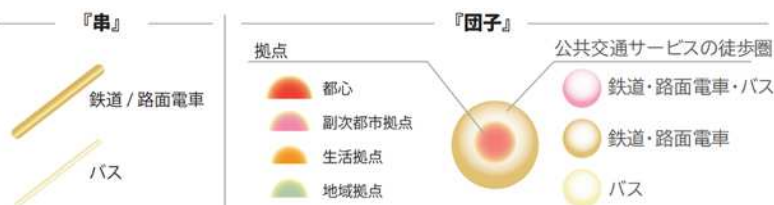
公共交通の活性化と、その沿線に居住や都市機能の集約を図るコンパクトなまちづくりを継続し、地域の資源を活かして魅力を最大化する拠点形成や既成市街地の利活用により、『公共交通を軸とした都市の再構築による拠点集中型のコンパクトなまちづくり』の実現を市民とともに目指す



都市の再構築により目指すお団子と串の都市構造

使いやすい「串」: 利便性や質の高い公共交通

色付けされた「お団子」: 串で結ばれた特色ある徒歩圏

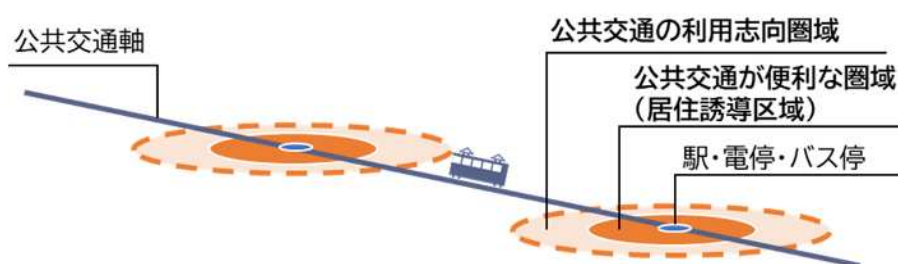


『都市の再構築』

既成市街地の「土地や建物」、「公共交通や道路・公園などインフラ」、「既存の都市機能や地域資源、自然環境」などの都市アセット(資産)を最大限に活かし、都市に新たな価値を付加する取組み。

- ① まちづくりの基軸となり多面的な価値をもたらす「公共交通の活性化」
- ② 市民が公共交通利用を意識した居住地選択ができる「公共交通志向型居住の推進」
- ③ 地域の個性を活かして魅力を最大化する「中心市街地をはじめとした拠点の形成」
- ④ 人口減少下における道路・土地・建物等の総合的な「都市マネジメントの推進」

<公共交通志向型居住の推進のためのエリア設定>



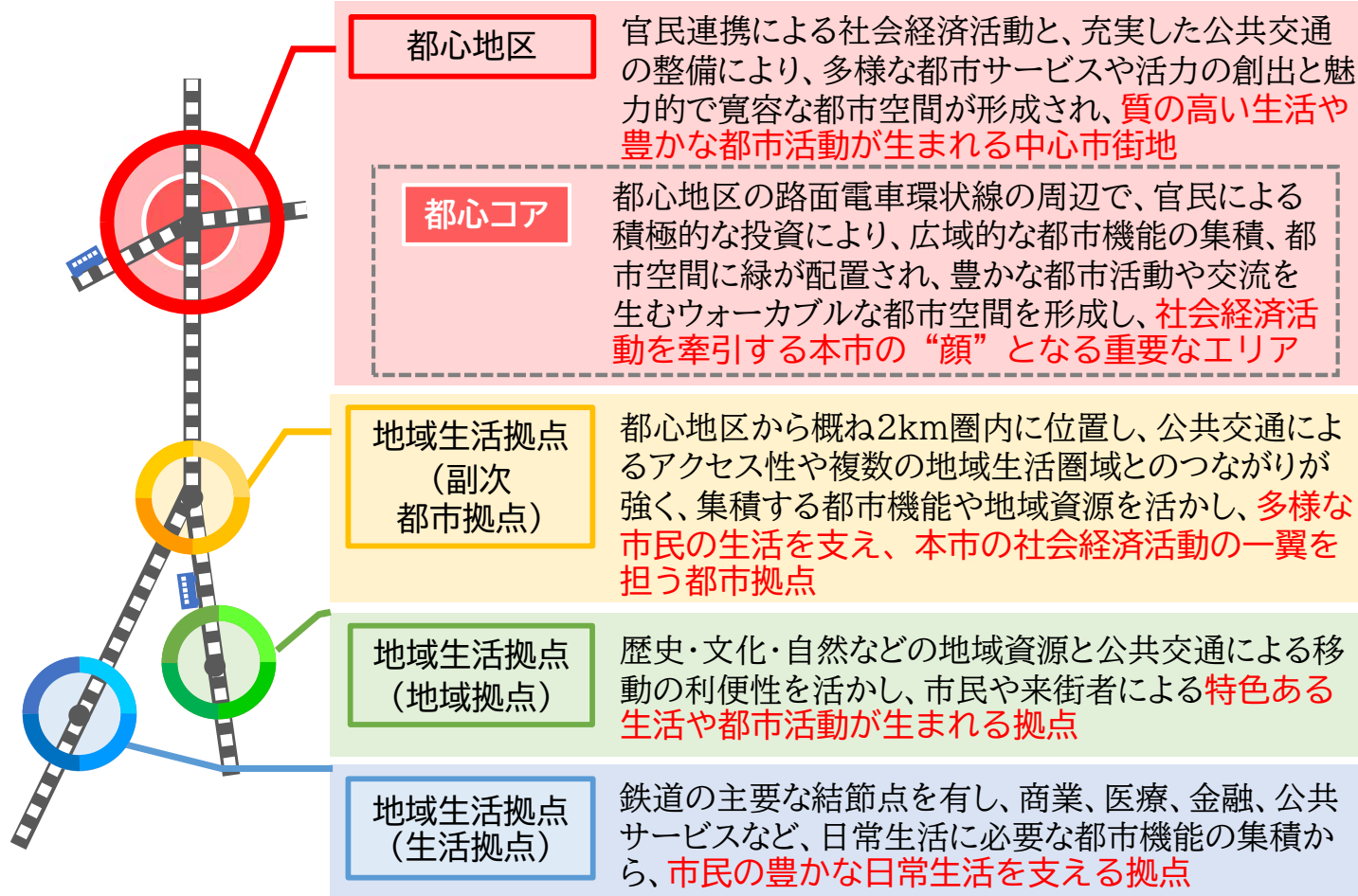
【公共交通の利用志向圏域】

公共交通軸の鉄軌道駅から概ね750m、バス停から概ね600mの範囲で、公共交通利用を意識した市民生活の醸成を図る圏域

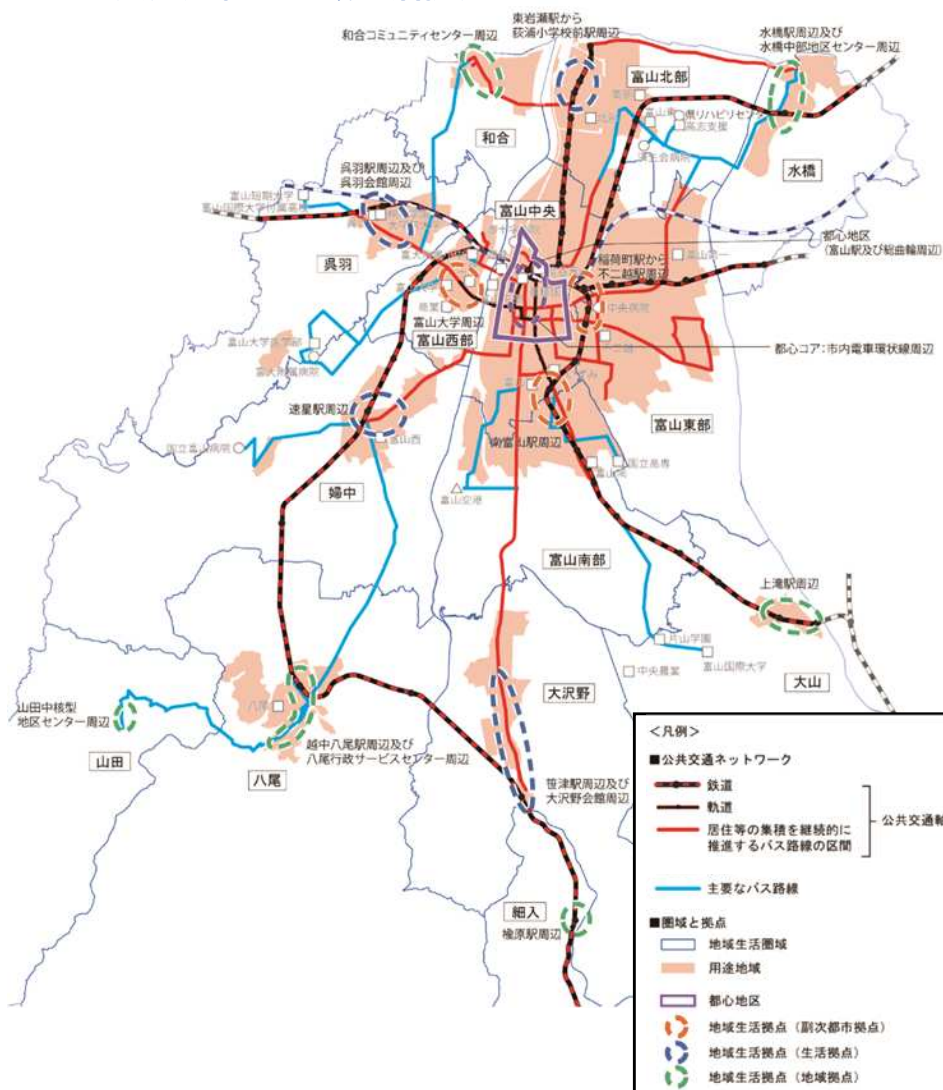
【公共交通が便利な圏域】

都心地区と公共交通軸の鉄軌道駅から概ね500m、バス停から概ね300mの用途地域等が定められた徒歩圏で、都市の諸機能や居住を誘導する圏域

<地域生活拠点の役割の区別>



<公共交通軸と地域生活拠点>

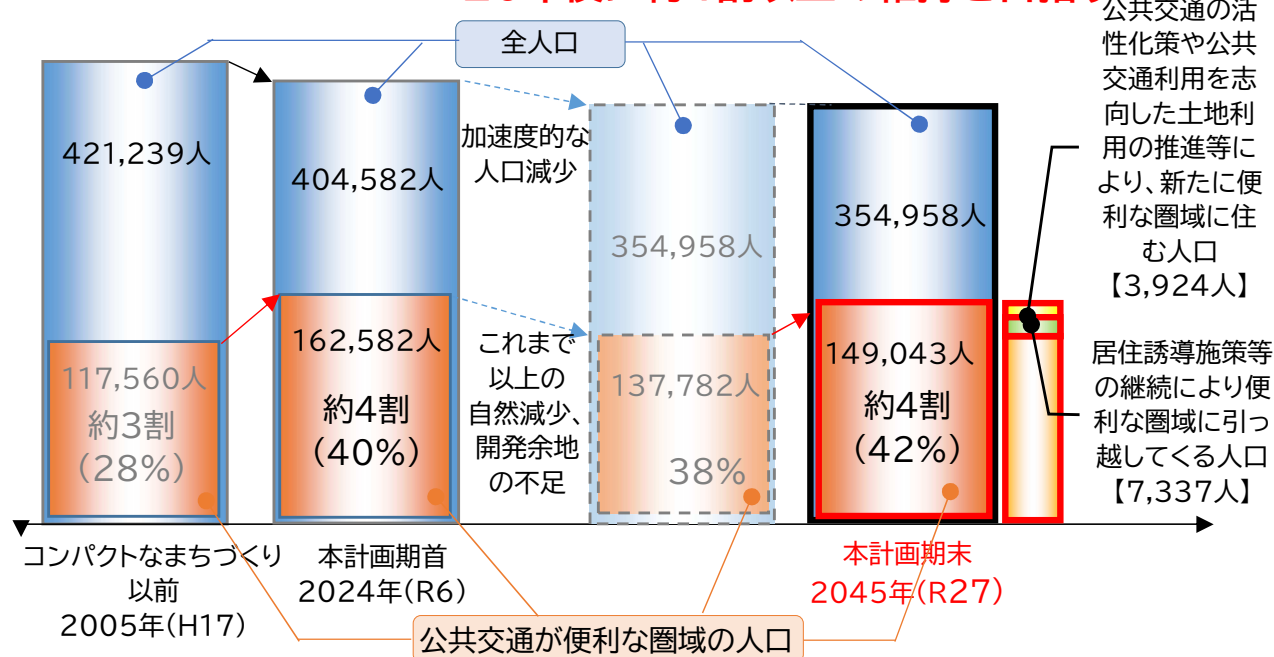


地域名	地域生活拠点の位置
富山中央	都心地区 (富山駅及び総曲輪周辺)
富山北部	東岩瀬駅から萩浦小学校前駅周辺
和合	和合コミュニティセンター周辺
呉羽	呉羽駅周辺及び呉羽会館周辺
富山西部	富山大学周辺
富山南部	南富山駅周辺
富山東部	稲荷町駅から不二越駅周辺
水橋	水橋駅及び水橋中部地区センター周辺
大沢野	笹津駅及び大沢野会館周辺
大山	上滝駅周辺
八尾	越中八尾駅及び八尾行政サービスセンター周辺
婦中	速星駅周辺
山田	山田中核型地区センター周辺
細入	榆原駅周辺

- ①車を使わなくても安心・快適な暮らしを実感できるまち
- ②市民のライフステージ等に応じた多様な住まい方が選択できるまち
- ③地域の個性が発揮された拠点集中型のまち
- ④持続可能で災害に強い、安全・安心のまち
- ⑤豊かな自然を守り育てる、環境に優しいまち

公共交通が便利な圏域に住む市民の割合

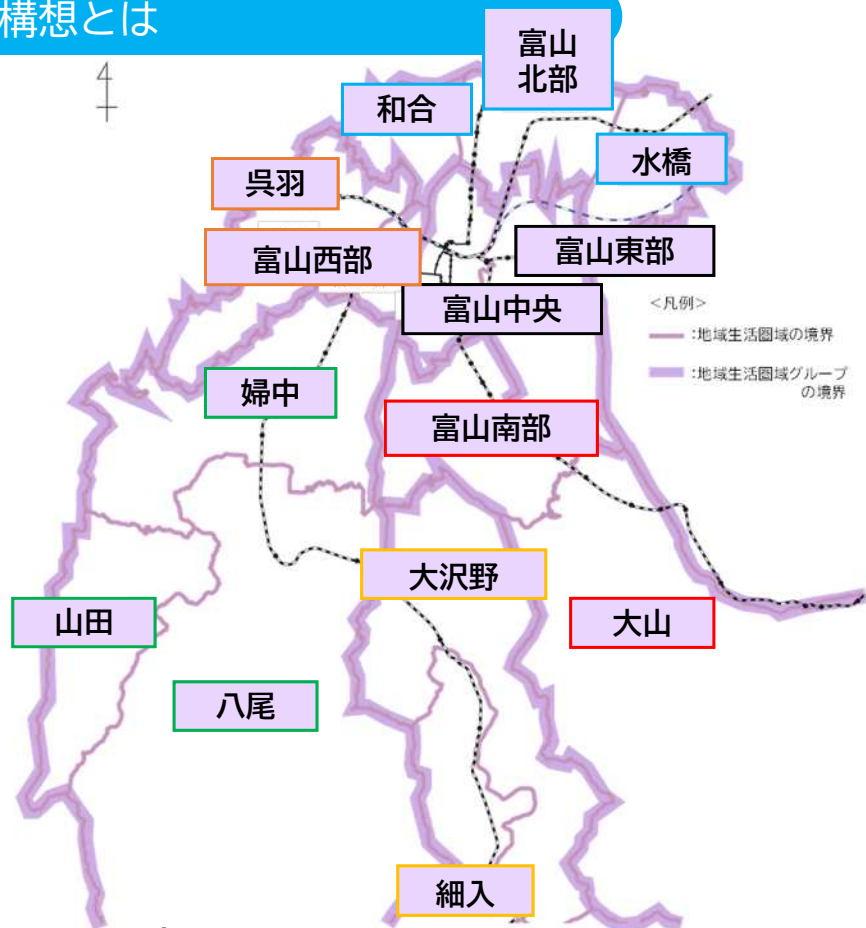
～20年後に約4割以上の維持を目指す



・14の地域生活圏域の現状を踏まえ、全体構想における位置づけ、市民アンケート結果や地域間のつながり(6つの圏域グループ)を踏まえつつ、市民ワークショップで出されたアイデア等を参考としながら、地域のまちづくりの方針を明らかにするもの。

<地域別構想の役割>

- ①各地域のまちづくりの基本的な方針
- ②各地域の都市計画や基盤整備の主な内容

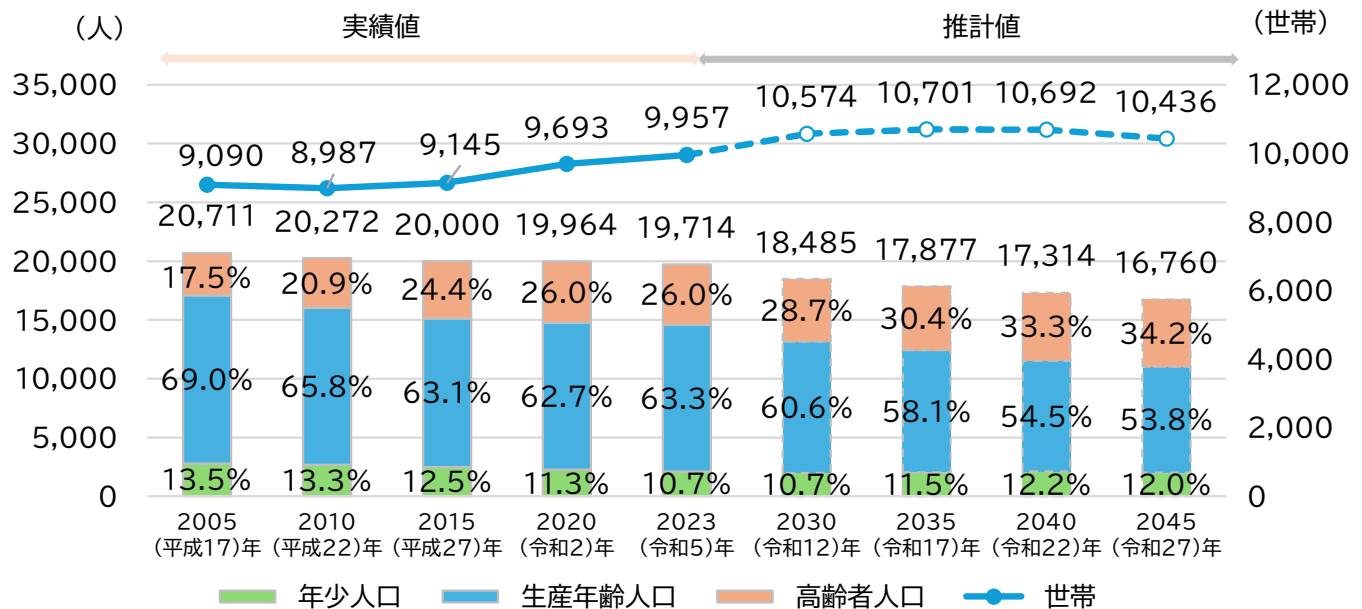


1 地域の現状

西側に呉羽丘陵を有する自然豊かな地域であり、歴史・文化の資源が集積するほか、五福公園などのレクリエーションの場が形成されるとともに、富山大学をはじめとした教育施設や産業施設が立地し、産学官連携の場が形成されています。

<人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し>

人口は減少傾向にあり、2023（令和5）年時点で19,714人、高齢化率が26%となっています。今後も人口は継続して減少し、世帯数も減少に転じる見込みです。



<市民ワークショップでの意見>

《地域の魅力》	「都心への交通利便性が高く、生活利便施設が充実」「豊かな自然景観があり、文化施設も集積」「学生の街（高等教育機関の集積）」
《20年後の地域の将来イメージ》	住む・観る・学ぶを磨き上げ、 住みたい・行きたい・伝えたい 富山西部

2 まちづくりの方針

i) 路面電車の利便性と学術・産業機能の立地を活かした副次都市拠点の形成

・路面電車の利便性と大学や新産業支援センター等の学術・産業機能の立地を活かし、商業等の生活サービスと、産学官が連携する業務や交流機能等の充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

・JR高山本線や路面電車等の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 呉羽丘陵や五福公園を核とした自然・レクリエーションの場の形成

・呉羽丘陵フットパスや民俗民芸村、ファミリーパークなどがある呉羽丘陵、陸上競技場や野球スタジアムのある五福公園を核に、市民が身近に自然環境やレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 水田などの営農環境の保全

・水田などの営農環境の保全を推進します。

v) 安全・安心なまちの形成

・洪水等の災害リスクの回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

3 主な取組や土地利用の方針

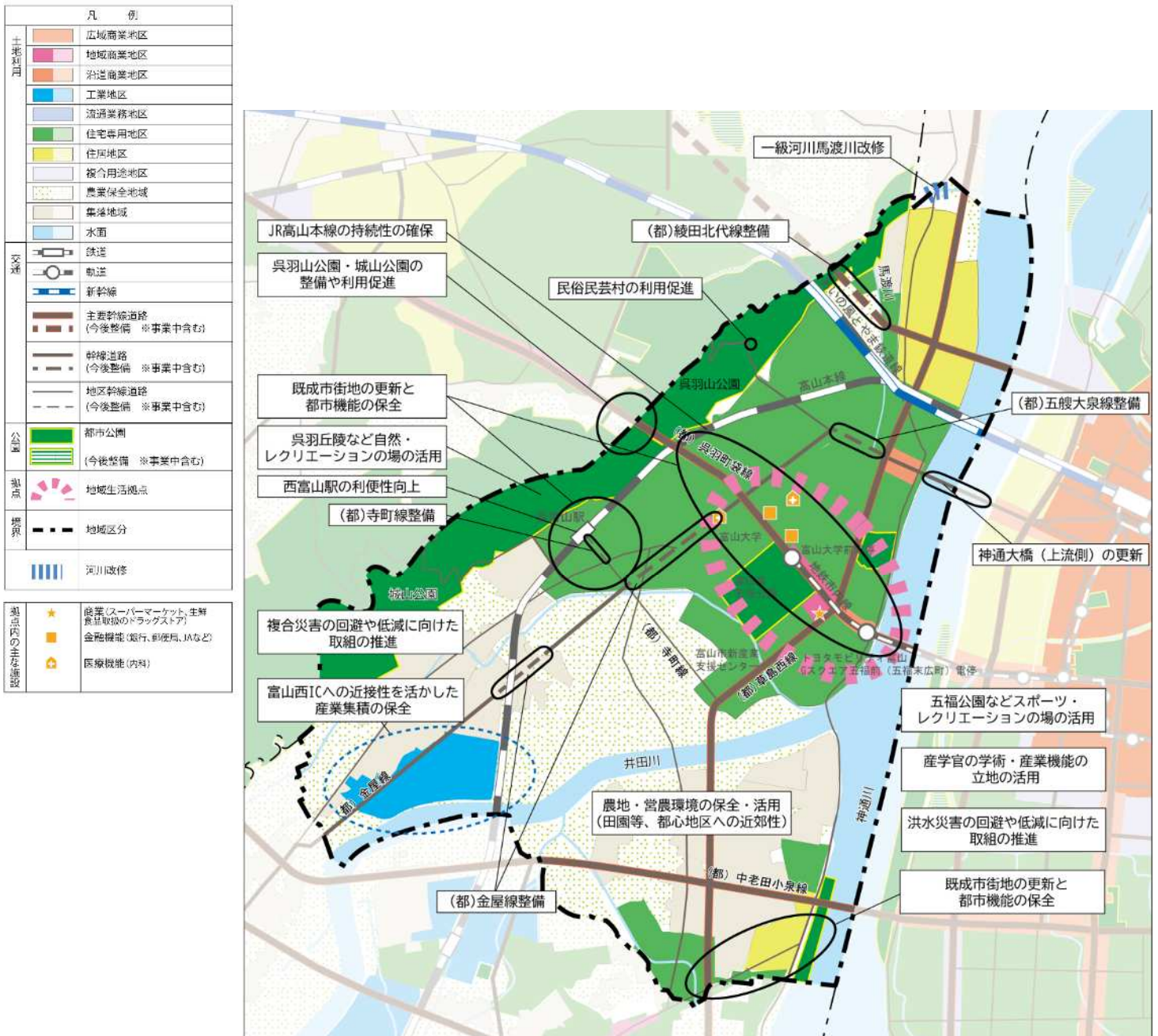
<主な取組>

- 【 串 】
- ・ JR高山本線の持続性の確保
 - ・ 路面電車の利便性の向上
 - ・ 都心や拠点間を結ぶバス路線の快適性の向上
 - ・ 市民の足としての生活交通等への支援
 - ・ 西富山駅の利便性の向上
- 【 団 子 】
- ・ 生活に必要な機能の維持や既成市街地の更新を促進
 - ・ 学術や産学官施設を活かした拠点、公園等のレクリエーションの場の形成
 - ・ 洪水や土砂災害等のリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理の推進

<土地利用の方針>

- 【商業系】（主）富山高岡線沿線での就業の場の形成や小売業等の機能を維持
 【産業系】富山西ICや幹線道路への近接性を活かした産業集積の保全
 【住宅系】公共交通活性化と併せた環境整備や沿道施設との調和による良好な住環境の形成
 【農業・自然系】市街地周辺での個別開発の抑制による、営農・自然環境の保全

<まちづくり方針図>

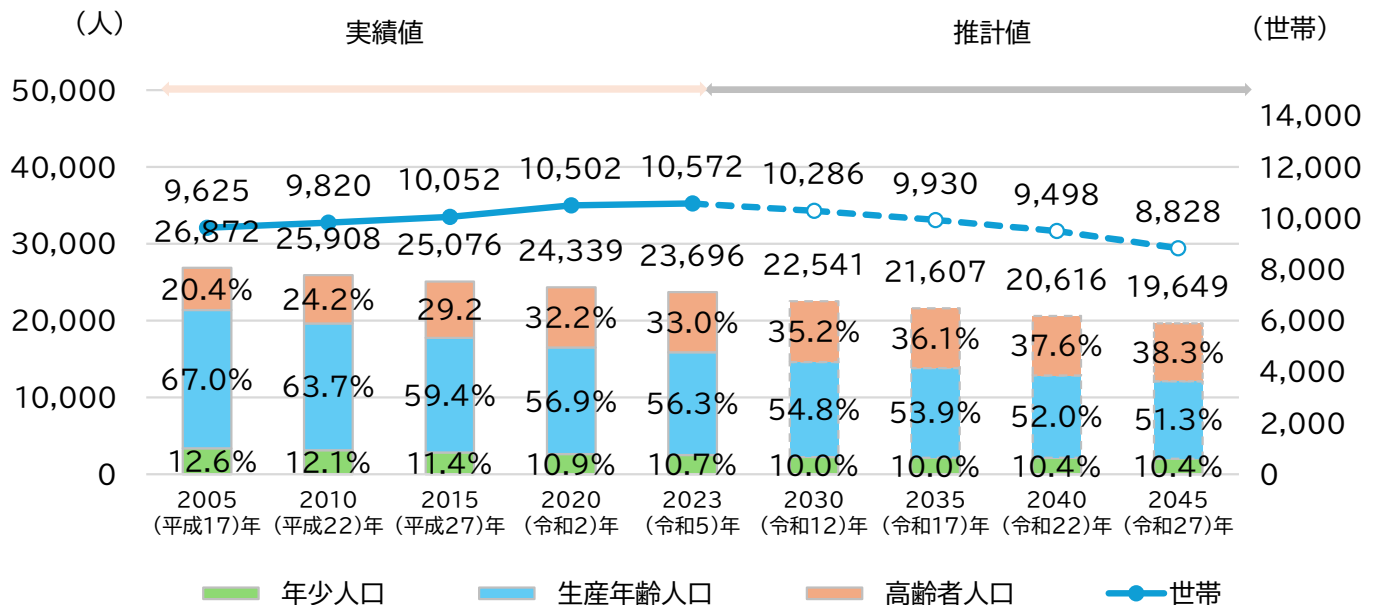


1 地域の現状

東側に呉羽丘陵を有する自然豊かな地域であり、歴史・文化・里山を活かしたレクリエーション拠点の整備が行われているとともに、呉羽駅周辺では、芸術文化の場の形成や良好な居住環境の整備が進んでいます。

<人口・世帯・年齢3区分割合の推移と見通し>

人口は減少傾向にあり、2023（令和5）年時点で23,696人、高齢化率は33%と3割を超えています。今後も人口は継続して減少し、高齢化率も高まり、さらには増加傾向にあった世帯数も減少に転じる見込みです。



<市民ワークショップでの提案>

《地域の魅力》	「食（呉羽梨、米、高付加価値作物など）」 「呉羽丘陵の豊かな自然環境（景観）」「歴史文化体験」 「住みやすい生活圏（商業等集積、公園）」
《20年後の地域の将来イメージ》	・学生のエネルギーあふれるまち ・呉羽丘陵を核に自然・文化・音・食のまち ・とやまのへそ花のじゅうたん広がる908（くれは）

2 まちづくりの方針

i) 芸術文化の場を活かした呉羽駅周辺を中心とする生活拠点の形成

- ・公共交通の利便性と既にある市民芸術創造センターなどの充実した芸術文化の場を活かし、また商業施設などの生活サービスや文化・交流機能の維持・充実を図ります。

ii) 公共交通の活性化と連携した良好な居住環境の形成

- ・あいの風とやま鉄道線や幹線バス路線の活性化と連携して、沿線の諸機能を活かし、また既成市街地の更新を促すことで、良好な居住環境を形成します。

iii) 呉羽丘陵を核とした自然・レクリエーションの場の形成

- ・呉羽丘陵フットパスやファミリーパーク、ガラス工房などがある呉羽丘陵を核に、市民が自然環境やレクリエーションに親しめる場を形成します。

iv) 水田や果樹園などの営農環境の保全

- ・水田や果樹園などの営農環境を保全します。

v) 広域物流に優位な交通環境を活かした産業の誘導

- ・高速道路や幹線道路との結節性を活かし、産業の保全や誘導を図ります。

vi) 安全・安心なまちの形成

- ・土砂災害等のリスク回避や低減、社会インフラの適正な維持管理を推進します。

3 主な取組や土地利用の方針

<主な取組>

- 【串】・あいの風とやま鉄道の持続性の確保
・都心や拠点間を結ぶバス路線の快適性の向上
・市民の足としての生活交通等への支援
・呉羽駅へのアクセス環境の改善
- 【団子】・生活に必要な機能の維持や既成市街地の更新を促進
・芸術・文化施設の立地や呉羽丘陵への近接性を活かした拠点形成
・点在する土砂災害等のリスク回避、低減するための取組の推進

<土地利用の方針>

- 【商業系】呉羽駅及び（主）富山高岡線沿線での小売業等の機能を維持
【産業系】富山西IC周辺における、産業集積の保全や新たな産業立地の誘導
【住宅系】公共交通活性化と併せた環境整備や沿道施設との調和による良好な住環境の形成
【農業・自然系】市街地周辺での個別開発の抑制による、営農や自然環境の保全

<まちづくり方針図>

